

平成28年春の特別展

徳川家康

將軍家蔵書からみるその生涯

平成28年

4月2日(土) → 5月8日(日)

入場無料

開催時間

月～水・土・日曜日・祝日

午前9:45～午後5:30まで

木・金曜日(4/29、5/5を除く)

午前9:45～午後8:00まで

(入館は、それぞれ閉館の30分前まで)

展示解説会

4月6日(水) 午前11:00から

企画者が、展示のみどころを解説します。

場所: 国立公文書館4階会議室

定員: 90名 解説会当日の午前9:45から

当館1階受付において、入場整理券をお配りします。

国立公文書館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2 TEL03(3214)0621

関原水原戦

此の戦は、北軍は徳川氏に勝つた。徳川氏に勝つた。徳川氏に勝つた。

徳川家康の書簡や日記の抜粋。右から左へ読む。牛車、随分兵、征夷大將軍に任、涉城、二月、十月。

徳川家康の書簡や日記の抜粋。右から左へ読む。道明寺、志、公、拾、公、拾、公、拾。

徳川家康の書簡や日記の抜粋。右から左へ読む。公、拾、公、拾、公、拾。

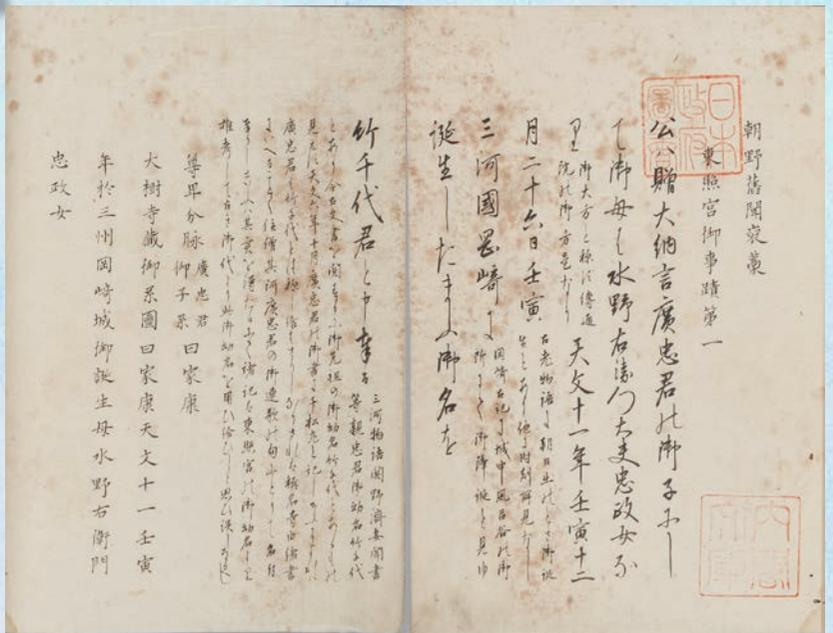


平成28年(2016)は、徳川家康が元和2年(1616)に駿府城で死去してから、四百年にあたります。その節目の年に、家康の生涯と様々な逸話、また没後、神となり、東照大権現として日光東照宮に祀られる等、死してなお影響を持ち続けた徳川家康の生涯を当館所蔵資料からたどります。



御実紀【ごじつき】

通称「徳川実紀」と呼ばれ、林述斎(じゅっさい)らにより編纂され、天保14年(1843)に完成した幕府の正史です。家康から十代家治に至る歴代将軍ごとの治績を編年体で記し、逸話については、付録としてまとめたものです。全485冊。紅葉山文庫旧蔵。

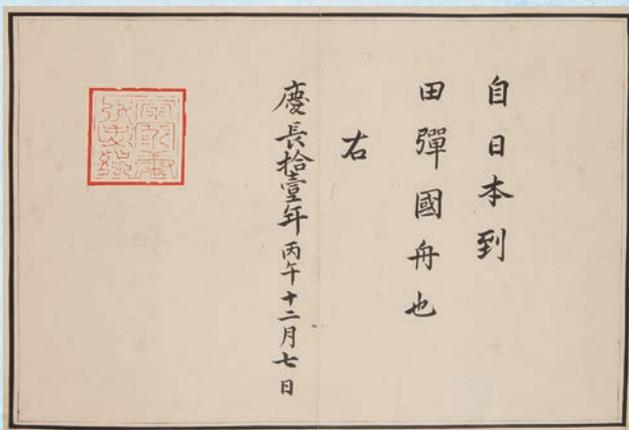


朝野旧聞哀藁【ちょうやきゅうぶんほうこう】

徳川氏の遠祖とされる源(新田)義重から、元和2年(1616)の家康の死去に至るまでの徳川氏創業の事績を叙述し、その関係史料を集大成した、徳川氏及び家康の事績録です。全1083冊。紅葉山文庫旧蔵。

外蕃書翰【がいばんしょかん】

近藤重蔵(守重・正斎)が編纂した幕府の外交関係資料を編纂して作成した「外蕃通書」の参考図録として作成されたもの。安南・オランダ・ルソン等への渡海朱印状33通等の外交文書が模写されています。紅葉山文庫旧蔵。



講演会のお知らせ(場所: 国立公文書館 4階会議室)

(定員: 各回90名) (事前申込み・先着順)

平成28年3月3日(木)から受付開始

①4月10日(日) 午後2時から

「いま見直そう世界に誇る『江戸の文化』～子孫から見た徳川家康～」
講師: 徳川恒孝氏(徳川記念財団理事長)

②4月27日(水) 午後2時から

「アジアのなかの徳川家康」(仮)
講師: 黒嶋敏氏(東京大学史料編纂所助教)

申込方法 郵便往復はがき 又は 電子メール

郵便往復はがきの場合 「往信用裏面」に参加希望者(1枚で2名まで申込可)の住所・氏名・電話番号、参加希望の講演会番号を記載、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を記入のこと。

電子メールの場合 メールタイトルに「平成28年春の特別展講演会 ①参加希望」又は「平成28年春の特別展講演会 ②参加希望」とし、メール本文に参加希望者(1通で2名まで申込可)の住所・氏名・電話番号を記入のこと。

申込先 【往復はがき】〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2「国立公文書館統括公文書専門官室展示担当」

【電子メール】tenji@archives.go.jp まで

日本国憲法原本の展示

5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝)9:45～17:30(無休・入場無料)日本国憲法の原本を特別に展示いたします。



国立公文書館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2 TEL03(3214)0621